

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	長野県	事業実施主体	長野県・阿智村	地域再生計画名	住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくりのための地域再生計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	建設農林課長 櫻井 健	地域経営課長 井原 清登	

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	年度	中間実績	基準年度						
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	耕作放棄地の解消	144ha	H25	125ha	H29	139ha	106ha	H31	△	耕作放棄地は年間5ha程度解消しているが、高齢化等による耕作放棄があるため、集落支援員を新たに配置し農業委員と連携して農地の貸し借り等のマッチングを行い耕作放棄地の解消を進めているが、現状では目標を下回る可能性がある。
	指標 2	村内入込客数の増加	134万人	H25	142万人	H29	130万人	150万人	H31	△	客層が団体客から個人客に推移しているため、観光入込客数の増加は計画に対し伸び悩んでいる。このため、「星空を見るナイトツアー」を開催するなど、「阿智村観光拠点整備計画」等の地域再生計画とを併せ、観光交流人口増加のための施策展開をしているが、目標を下回る可能性がある。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	ナイトツアーの開催において智里西地区における交流人口の増加	3.3万人	H25	8万人	H29	12万人	10万人	H31	○	本計画実施地区で行われている、「星空を見るナイトツアー」については年々入り込み客が増えており、交流人口も増加している。
	指標 2	弓の又林道沿い作業道開設延長の増加	0m	H25	750m	H29	855m	1250m	H31	○	森林整備の推進を図ったことにより、作業道の開設が増加した。
	指標 3	弓の又林道沿い森林整備面積の向上	0ha	H25	36ha	H29	58.11ha	60ha	H31	○	作業道を開設した事により、今まで未整備だった箇所での森林整備が可能になり、間伐等の施業量が増加した。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度 (H29)	最終実績 見込み						
	特別措置を適用して行う事業	村道拡幅改良事業	0.54km	0.15km	0.54km	測量・設計委託が完了し、平成30年9月より幅員が狭く地域住民、来村者の安全な交通の妨げとなっている箇所から整備を開始する。このことにより通行の安全を確保する。引き続き未整備区間を整備し目標達成を図る。					
		林道開設事業	0.19km	0.01km	0.19km	地形急峻地質脆弱な区間の工事であるため、豪雨のたびに法面崩壊・落石等が頻発し、工程通り整備が進まない状況である。地域を結ぶ林道が安全で容易に通行できることが観光客の増加、交流人口の増加の目標達成に繋がるため、難工事区間ではあるが最適な工法を選択して平成31年度までに確実に整備を完了させ全線開通を図る。					
	その他の事業	花桃まつり	花桃まつりの実施			花桃まつりを毎年実施している。5月の連休に満開となれば入込客の大幅増が見込まれる。開花時期が前後しても祭りの開催は開花に左右されないということを確実に広報する。引き続き花桃まつりは継続する					
		グリーンツーリズム	農業体験、間伐等の森林整備体験			修学旅行で農業体験の受入や企業とタイアップした森林整備を実施している。地域住民との交流が図られており、観光客の増加、交流人口の増加に繋がるよう引き続き行う。					
		村道整備	集落内、交流施設への連絡道路整備			村単独事業により国道と山村体験館を結ぶ道路拡幅改良を実施。その他にも屋神温泉内の舗装打替工事を実施し、来村者が安全で快適に移動できる道整備が行えた。今後も計画的に実施を行う。					
中山間総合整備事業		集落内農道、農業施設の整備、獣害防止柵の設置			県営事業で優先的に実施している獣害防護柵の設置により、獣害被害が激減している。耕作者の耕作意欲低下にも効果があり、耕作放棄地の面積拡大を抑制している。引き続き長野県と連携し早期の獣害防護柵設置完了を目指す。						
計画外で独自に実施した事業	河川愛護活動	河川整備の実施			年に2回地区による河川内の除伐・草刈り等を実施している。環境美化により観光客が再度訪れたいと思う魅力ある地域づくりと、住民の環境美化意識高揚を図っている。引き続き事業を継続していく。						
④評価方法	農業、観光、商工に携わる地元関係団体や、村内の各分野の代表住民からなる審議会において、実施状況等について評価・検討を行った。										
⑤中間評価の公表方法	長野県の公式ウェブサイト、阿智村ホームページ、村内ケーブルテレビの文字放送により公表										
⑥計画全体の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>本地域再生計画では、地方創生推進交付金を活用して村道整備と林道整備を一体的に実施し、地域を連携する道路網の整備を行い観光客の増加及び交流人口の増加を目標にしている。客層の変化などにより、村内入込客は横ばい状態で直ぐには目標達成には至らない状況であるが、本計画実施地区の智里西・混合地区では、「星空ナイトツアー」等新たな取り組みを行い入込客数の増につなげている。また、「星空ナイトツアー」以外の観光資源を活用した取組も行われており併せて入込客の増加が期待される。</li> <li>林道開設した事により、未整備の山林に搬出間伐等の森林整備が進んでいる。引き続き支線となる作業道の開設を行い森林整備の促進を図る。</li> </ul>										
⑦今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本地域再生計画における村道事業及び林道事業は、最終年度までに完了の見込みである。</li> <li>耕作放棄地の解消では集落支援員等を活用する中で進めてきているものの、新たな耕作放棄地の発生もあり計画通りに解消は進んでない。新たな取り組みとして補助事業を活用した担い手の育成や、地域の中心となる集落営農の組織化を進めるとともに、農業と観光等他産業がタイアップしていくなどの農業振興を行い、新たな耕作放棄地が発生しないようにして、耕作放棄地の解消を目指す。</li> <li>観光入込客については、計画通りに増加していない状況にあるが、「星空ナイトツアー」等新たな取り組みについては入込客も増えている。今後村内各地の観光資源を活かした観光連携を図り、「阿智村観光拠点整備計画」「日本一の星空」ブランドを核とした、「商工観光業連携の産業振興計画」と二つの地域再生計画とを併せ、多種多様な取組により村内観光入込客数が増えるよう施策展開する。</li> <li>観光立村である本村では林道弓の又線が全線開通する事により、森林整備施工面積の増加はもとより人の流れが変わる事が予想されるので、計画終了後に本計画の効果が発現するよう充分なフォローアップを行う。</li> </ul>										